

# Intersection Tokyo Memories of the City

街  
の  
記  
憶

人の人生はここに交差する。  
人も転生し、街も生まれ変わる、  
記憶達の中で全ては繋がっている。

## Toshiaki Takeuchi Biography

ファッション (オーストラリアンヴォーグや日本のファッション雑誌) ポートレート、ダイヤモンドから車まで、50年間商品が売れるための広告や、読者に夢を与える雑誌などあらゆる写真撮影をしてきた。黒澤明、真田広之、イチロウ、安倍元首相 (ポスター、国葬写真など) それは多くの人が納得する写真である。  
そして今自分が追求できる表現として、Flower、マイルヌード、そして変化する街、死ぬまでの時間の空気と時間を撮影中。

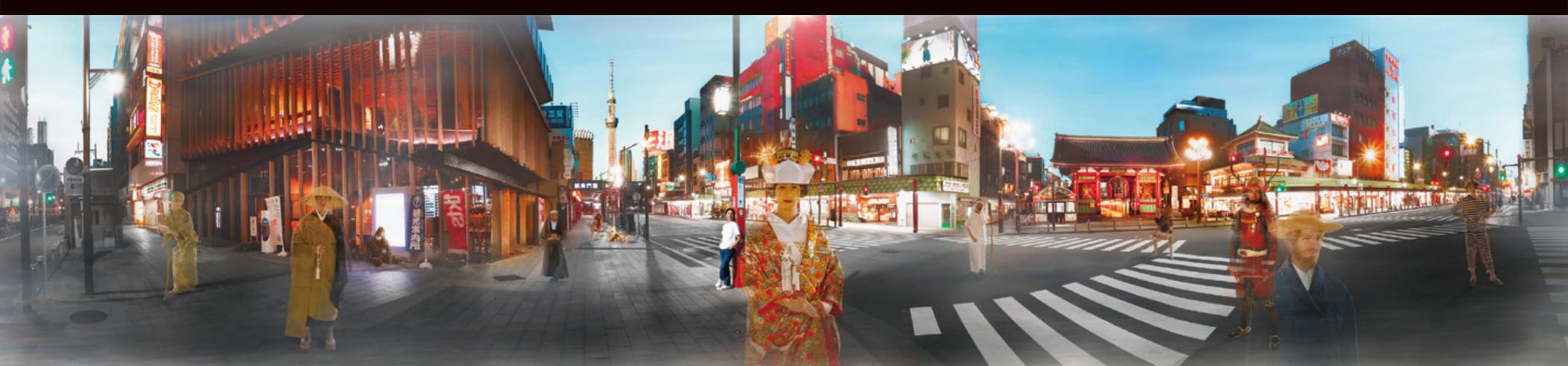
Wikipedia: toshiaki takeuchi  
090-1044-0507



Toshiaki Takeuchi

- 2023 Muse Photography Awards (GOLD WINNER)
- 2022 Annual Photography Awards (奨励賞)
- 2022 FP22展 (代々木公園、東京)
- 2021 銀座ギャラリーイシ、FP22展
- 2005 「AD PEOPLE 'S ART」銀座エストギャラリー
- 1996 玉川高島屋「FLOWERS」展
- 1995 「NTT黒澤明ホスター」Golden Award of Montreux
- 1994 ニューヨークADC賞「滋賀県障害者施設ピーアライブホスター」コダックフォトサロンにて「ARTISTS 1994」ルアンダに寄付
- 1993 「オリジナルプリント展 Mail Nude」個展 第2回国際コンテンポラリーアートフェアに出品
- 1987 ニューヨークADC賞「Chage&Aska Record Jacket」
- 1980 オーストラリア「グッディ」キャンソンサロン、東京
- 1979 AUSTRALIAN VOUGU等と仕事を始める

## 武内俊明



2025 Tokyo Asakusa kaminarimon+nakamise Intersection: Memories of the City (181×40cm)

## Intersection Tokyo Memories of the City

浅草浅草寺は1400年前、漁師が海より観音様を引き上げ、それを奉納した寺として始まり、この一帯も80年前には東京大空襲で廃墟と化した。そして復興した今では年間4000万人が集う。神社を中心に強運を引き寄せる象徴的な土地である。人と時間と光が交差する中、私たちは二面性に気づく。善と悪、昼と夜、生と死は全て表裏一体であり、現実には異なる側面が同時に存在する。

生死は裏と表となるので、この写真は裏から見たものとして、反転されている。写真のパノラマは一つの合理的な画面に閉じ込めると、全ては歪曲して現れる。我々の魂も現実の歪みのように、行ったり来たりしながら記憶の中で生きている。一周して繋がった、写真には13体の青年が時間、空間の異なる次元でその中に入っている。そして常に我々が住む街に感謝し、幸せを感じる事が大事だ。



Muse Photography Awards (New York)



80 years ago 1945 sakusa-kaminarimon-nakamise air raid site  
東京大空襲・戦災資料センター提供

## 武内俊明の死生観

10代の頃より死に対する興味が強く、死生観の探究を50数年、輪廻転生の実在的証拠、量子力学、医学者の検知から命の転生を確信する。写真家としての活動と同時に墓の存在に疑問を抱き、35年前より、石になる墓に対し、植林として森林の保全を提唱する。継続する慣習としての墓も変化し、世界的にも散骨、植樹葬の潮流でもある。

私は墓のテーマパーク構想があり、山を保全し、人びとが親族の魂と共に植樹した木々の元に集まり、祈りを捧げると同時にみんなで環境を継続していく企画である。今生は不可能でも生まれ変わってみんなの為に継続する。街も人も生まれ変わり時間と共に転生していく。私の表現の根幹かもしれない。